2. オリーブが愛される理由

オリーブの木が好まれる理由は、その実用性と美しさだけではありません。紀元前4000年ごろから栽培されてきたオリーブは、ヨーロッパや地中海沿岸地域の人々にとって特別な意味を持つ植物です。
オリーブの木は最高で3000年も生き続けると言われ、その強い生命力で古くから富と平和の象徴とされてきました。神話や宗教との結びつきも強く、旧約聖書の「ノアの箱舟」の物語では洪水の後にハトがオリーブの枝をくわえて戻ってきます。つまりオリーブの木は、太古の昔より神による祝福の証。オリーブの油は紀元前より神へのお供え物などとして尊ばれてきましたが、それもオリーブが神聖な意味を持つ植物だからです。
こうした歴史・宗教的な背景もまた、オリーブがヨーロッパや地中海沿岸地域の人々から大切にされている理由のひとつです。